

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

熊本県のすべてのドライバーが安心・安全・快適に自動車を利用できる環境を、当社だけでなく、当社に関わる全てのパートナーとともに高度化し、交通安全、環境に適したクルマ社会の発展に貢献します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	リユース商品の買取強化キャンペーン等にて品揃え拡充を行い、循環型社会の実現に向けリユース事業拡大に取り組む。	項目	リユース商品の販売構成
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		売上構成比0.72%	売上構成比1.0%
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	若手の積極採用と資格取得支援制度の拡充を行い、研修受講支援やインセンティブ制度充実で、次世代技術に対応できる整備士を育成・確保する。	項目	整備士資格保有比率
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		30.4%	40.0%
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	社内の価値観を広げ、顧客の消費活動の多様化に適應させるために、女性雇用を積極的に推進する。	項目	女性雇用比率
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		30.7%	40.0%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

熊本カンパニーは「オートバックスセブン子会社」であり、オートバックスグループ全体のSDGs方針やEラーニングなども活用していることから、オートバックスグループ全体がSDGs推進における重要なパートナーであります。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	当社が販売する交換用タイヤは、燃費性能の高い製品の販売割合を高め、熊本県における自動車排気ガスを低減させる。	交換用タイヤ低燃費商品販売比 '20年77%⇒'24年90%
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	経済状況の変動による顧客の購買意欲の低下、低燃費タイヤ以外の選択肢への需要分散の為、目標未達成となった。	交換用タイヤ低燃費商品販売比 83.4%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	次世代自動車整備に向けて、当社と他の整備工場とで設備と技術の相互補完の関係を築き、整備事業の発展、交通事故撲滅を図る。	当社整備環境の共有関係 '20年未実施→'23年運営方法の確立
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	他社が次世代自動車整備利用する運営オペレーションは確立済、他社の利用促進を継続する。	他社利用実績0件 (自社利用実績47件)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	社内の価値観を広げ、顧客の消費活動の多様化に適應させるために、女性雇用を積極的に推進する。	女性雇用比率 '20年25%⇒'24年43%
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	COVID-19の影響による経済活動の停滞や、女性が働きやすい環境整備の遅れ、そして採用計画の未達が主な要因	女性雇用比率:'24年30.7%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。